

# 『取扱説明書』 ご使用上の注意とお手入れ方法

## 新日軽 ネクスペース ピラー&ルーフ

施工工事店様、販売店様へ

この「取扱説明書」は施工完了後裏表紙に必要事項を記入し、お施主様へお渡しください。

# もくじ

もくじ.....	2	2. お手入れ方法について.....	6
『取扱説明書』のごあんない.....	2	2-1 屋根材・スクリーンのお手入れ方法.....	6
安全にお使いいただくために.....	2	2-2 アルミ部分のお手入れ方法.....	6
1. ご使用上の注意.....	3	2-3 雨樋のお手入れ方法.....	7
1-1 安全上の注意.....	3	3. 不具合について.....	7
1-2 各部の名称.....	4	4. 保守・点検.....	8
1-3 ルーフご使用上の注意.....	4	施工工事店様、販売店様へのお願い.....	8
1-4 天井スクリーンのお手入れ方法.....	5		

## 『取扱説明書』のごあんない

このたびは、当社製品をお買上げいただき、誠にありがとうございます。

この商品をご使用いただく前に、必ずこの「取扱説明書」をお読みいただき、十分理解されたうえでご使用ください。また、「ご使用上の注意」に記載されている事項は、守らないと重大な人身事故につながる恐れもありますので、よくお読みになり、正しくご使用ください。

●お読みになった後、この「取扱説明書」は、いつでもご使用いただけるように**大切に保管**してください。

## 商品の特長

ネクスペースシリーズは、用途に合わせて自由に組み合わせができる住空間創造ユニットです。アイデア次第で様々なシーンを演出し、今までにないライフスタイルを実現します。





### ■「ピラー&ルーフ」ご使用例

- リビングと庭の間の新しい空間として
- スクリーンと組み合わせて玄関前の目隠し、外からの視線を気にせず使える屋外プライベートスペースとして
- 通路やテラスの雨よけとして

## 安全にお使いいただくために

- この「取扱説明書」では、お客様にとくに注意していただきたい事項には、下記のようなマークと見出しをつけています。
- この「取扱説明書」の中で、これらのマークと見出しがありましたら、記載内容をお読みのうえ十分注意してください。

### ■絵表示について

 <b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。		この記号は、「してはいけないこと」を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、使用者が傷を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。		この記号は「必ず守っていただくこと」を示しています。

# 1

## ご使用上の注意

### 1-1 安全上の注意

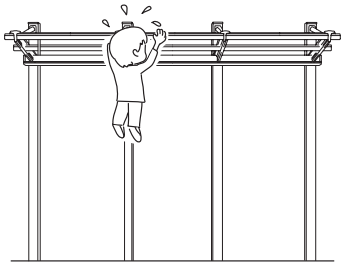
#### 警告

- 分解・改造は行わないでください。

#### 注意



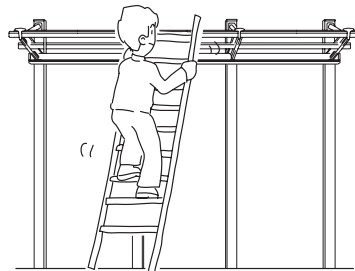
屋根にぶら下がったり、乗ったり、飛び降りたり、ゆすったりしないで下さい。ケガや転落の恐れがあります。



MET1063-001



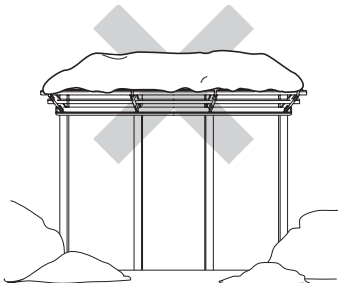
屋根に物を載せないで下さい。またハシゴをかけたりしないで下さい。ケガや事故の恐れがあります。



MET1063-002



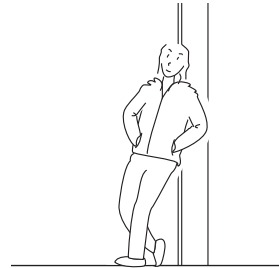
- 屋根への積雪が20cmを超える前に、かならず雪おろしをしてください。
- 雪おろしの際は、金属製のスコップを使わないでください。



MET1063-003



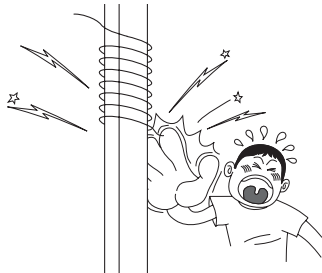
柱、スクリーンに寄りかかたりしないでください。破損してケガをする恐れがあります。



MET1063-004



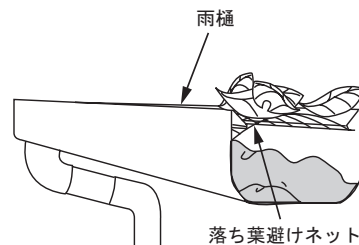
製品に電線を巻きつけしないでください。漏電により、感電する恐れがあります。



MET1063-005



雨樋及び落ち葉避けネットに土砂や落ち葉がたまると水はけが悪くなります。雨樋部分の清掃を定期的に行ってください。



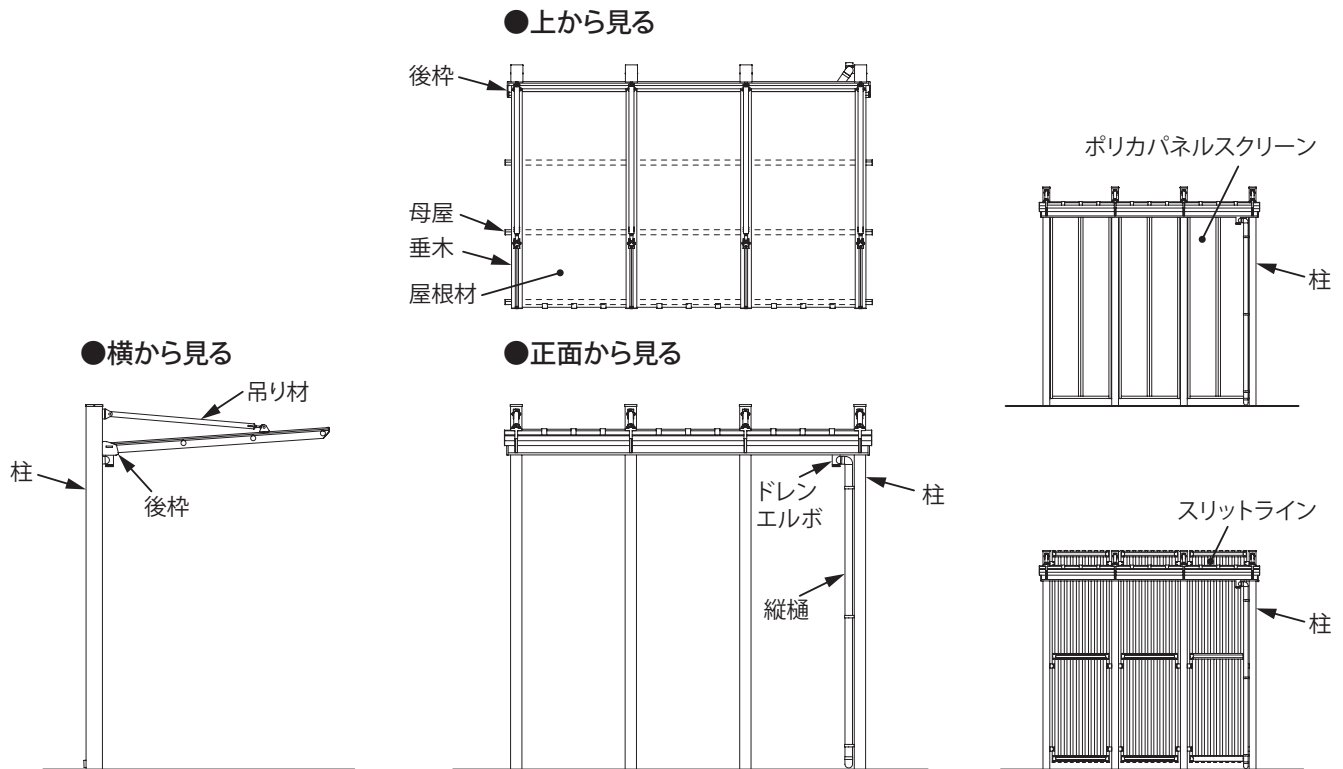
MET1064-004



- 物をぶついたりしないでください。
- 屋根の上に温水器等を設置しないでください。
- 防水コンセント、照明に下から水をかけないでください。

※手すり・照明・防水コンセント・天井スクリーンはオプション品です。

## 1-2 各部の名称



MET1063-006

※ポリカパネルスクリーン・スリットラインは別売品です。

## 1-3 ピラー&ルーフご使用上の注意

### ⚠ 注意

- 屋根材に雨具・洗濯物・布団などを載せないでください。  
※屋根材が変形する原因になります。
- 太陽熱により表面が高温になる場合があります。夏の晴天時などは触れるときに注意してください。  
※表面温度は材質よりも色の濃さに大きく影響されます。
- 屋根材や柱に、灯油・ガソリン・有機溶剤などが付着した場合は、すぐに拭き取ってください。
- 夜間および留守にする場合は、安全のために天井スクリーンを必ず収納してください。
- 風の強い日は、天井スクリーンを収納してください。スクリーンの生地や本体が破損してケガをする恐れがあります。

※手すり・照明・防水コンセント・天井スクリーンはオプション品です。

## 屋根材・ポリカパネルスクリーンの特性

屋根材・ポリカパネルスクリーンは、熱や衝撃に強く、半透明なプラスチック素材です。

### 熱伸縮について

- 高温にも低温にも強い商品ですが、温度の変化によって伸縮します。それによって多少のたわみ（反り）が発生する場合がありますが、使用上および機能上問題ありません。

## 屋根材・スクリーンご使用上の注意

### ⚠ 注意

#### 汚れについて

- 汚れは使用環境に大きく影響されます。汚れが付着した時は、頑固な汚れになる前に洗浄を行ってください。
- 屋根材・スクリーンに灯油・ガソリン・有機溶剤などが付着した場合は、すぐに拭き取ってください。

汚れはすぐに拭き取ってください



MET1046-003

#### キズについて

- 擦れキズがつきやすい商品です。物を載せたり、ぶつかけたり、擦り付けたりしないでください。キズがつく原因になります。

#### 燃焼について

- 本商品の近くでは、火気に十分ご注意ください。屋根材・スクリーンが燃焼・変形する原因となります。
- 給湯器や暖房機などの熱排気が、商品に直接あたらないようにしてください。熱による部材の変形・劣化の原因になります。

#### 荷重について

- 部材表面を、傘など先端の尖ったもので突かないでください。また、物をぶつかけたりしないでください。破損や変形の原因になります。
- ぶら下がったりよじ登ったりしないでください。ケガや商品の破損の原因になります。

## 1-4 天井スクリーンご使用上の注意

※別売品

### ⚠ 注意

#### 汚れについて

- 汚れが付着した時は、シミになる前に洗濯を行ってください。
- シンナー、ベンジン等の有機溶剤で清掃しないでください。変形・変色したり、塗装がはげることがあります。

#### 燃焼について

- 本商品の近くでは、火気に十分ご注意ください。火が燃え移り火災の原因となる場合があります。
- 給湯器や暖房機などの熱排気が、商品に直接あたらないようにしてください。熱による素材の変形・劣化の原因になります。

#### 強風について

- 風の強い日は、天井スクリーンをたたんでフック棒を収納してください。スクリーンの生地や本体が破損してケガをする恐れがあります。

#### 破損について

- ぶら下がったり引っ張ったりしないでください。ケガや商品の破損の原因になります。
- フック棒を天井スクリーンの操作以外に使わないでください。

## 2

# お手入れ方法について

### <お手入れのお願い>

- 商品をいつまでも美しくお使いいただくために、定期的なお手入れを行ってください。
  - ※汚れを長時間放置しておきますと、腐食や変質の原因になります。
  - ※お手入れ方法は次項を参照してください。
- 定期的な水洗いと乾拭きだけでも効果的です。ただし、工業地帯や海岸の近くなどでは、状況によりお手入れの回数を増やしてください。

### ■地域別お手入れ回数のめやす

地域	備考
臨海工業地域	年に2～3回
工業・商業地帯 温泉地帯	年に2回
海岸・街道地帯	年に1～2回
田園・山間地帯	年に1回



### <お手入れ時のご注意>

- お手入れには、布・スポンジなどのやわらかいものを使用してください。磨き粉・固いタワシ・金属ブラシ・金ペラ・スチールウール・目の粗いヤスリなどは使用しないでください。
- 小石・砂などはあらかじめ取除いてください。
  - ※付着したまま表面を擦るとキズの原因となります。
- 溶剤系洗剤のクリーニング剤や、酸性・アルカリ性の洗剤は、変色、変形、劣化の原因となる恐れがありますので、使用しないでください。



MET1046-002

## 2-1 屋根材・スクリーンのお手入れ方法

### 汚れが軽い場合

- 部材の長手方向に沿って、やわらかい布かスポンジを使用し水洗いしてください。
  - ※そのまま拭き取ると、表面が傷付くことがあります。

### 汚れがひどい場合

- 中性洗剤をぬるま湯で薄め、やわらかい布かスポンジで、汚れた部分を部材の長手方向に沿って擦るように拭いて汚れを落としてください。そのあと、洗剤を水できれいに洗い流し、やわらかい布で拭き取ってください。

## 2-2 アルミ部分 (CB) のお手入れ方法

アルミはスチールなどと比べ、サビに強い素材です。そのうえ、当社では、JIS規格を十分にクリアした表面処理を施しています。しかし、表面に付着した汚れを長時間放置しておくことで腐食の原因になることがあります。定期的なお手入れによりアルミ製商品をいつまでも美しく保つことができます。

### CB 製品の特性

CB製品は、一般のアルミ製品と違って表面に非常に細かい凹凸があり、傷がつきにくくなっています。そのため、布やスポンジによる清掃では汚れが落ちにくい場合があります。清掃には洗車用のブラシをお使いください。



- 市販のスポンジたわしは使用しないでください。
  - ※汚れが落ちにくい場合があります。

### 汚れが軽い場合

- 洗車ブラシで水洗いした後、乾拭きしてください。

### 汚れがひどい場合

- 中性洗剤を20倍程度に薄め、洗車ブラシで洗ってください。そのあと、洗剤を水できれいに洗い流し、乾拭きしてください。

## 2-3 雨樋のお手入れ方法

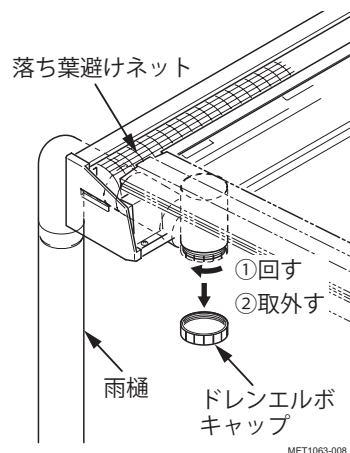
雨樋や落ち葉避けネットに土砂や落ち葉がつまると水はけが悪くなります。雨樋部分の清掃を定期的に行ってください。

- 落ち葉避けネットの上に残った落ち葉は定期的にはらってください。
- ドレンエルボキャップを両手で外し、たまった落ち葉やほこりを取り除いてください。



**注意**

- ドレンエルボキャップを外すと、ほこりや泥水があふれ落ちます。目や口に入ったり、衣類にかかったりしないように気をつけてください。



## 2-4 天井スクリーンのお手入れ方法

※別売品

天井スクリーンは洗濯機で生地を洗うことができます。洗濯をする場合には次の手順で行ってください。

- ①天井スクリーンを屋根から取外す。
- ②バー、キャップ、芯棒を生地から取外す。
- ③生地を洗濯機で洗う。



- 天井スクリーンの取外し・洗濯については、天井スクリーンの取付説明書 [ME-2055] を合わせて参照してください。

### 汚れが軽い場合

- ハタキやハンドモップ等でほこりを落とした後、水を充分絞ったきれいな布で乾拭きしてください。

### 汚れがひどい場合

- 上記手順に従って洗濯して頂くか、又は中性洗剤をぬるま湯で薄め、やわらかい布かスポンジで洗ってください。そのあと、洗剤を水できれいに洗い流し、乾拭きしてください。



**注意**

- シンナー、ベンジン等の有機溶剤は使用しないでください。材料が変形・変色したり、塗装がはげることがあります。
- ブラシは使用しないでください。キズがつく恐れがあります。

### 3 不具合について

現象	考えられる原因	対処方法
本体からピチピチと音がする	屋根材は合成樹脂製品ですので、熱膨張・収縮によって部材との接合部において音鳴りが発生することがあります。	製品上の問題ではありません。
屋根材の不透明化・変色	屋根材は合成樹脂製品ですので、経年劣化をおこし、不透明化・変色することがあります。	屋根材の交換が必要です。施工業者に修理依頼をしてください。
屋根材が外れた	設計強度以上の強風・台風時には屋根材が外れることがあります。	
屋根材に水が溜まる	屋根材のたわみが原因で、水が溜まる可能性があります。	修理または交換が必要です。施工業者に修理依頼をしてください。
雨漏りする	施工時のコーキング・シーリングが不十分ですと雨漏りの原因となります。	
本体が激しく揺れて異音がする	片流れ式の屋根の場合、強風時、台風時に強い風圧を受けると本体が破壊する可能性があります。	施工業者に点検を依頼してください。
ボルトが緩んでいる	本体が揺れてボルトが緩む可能性があります。	定期的に点検を行い、緩んでいる場合は増し締めを行ってください。

### 4 保守・点検


- ボルトやビス類は緩む場合があります。長年ご使用いただくために、定期的に点検の上、施工工事店にお問い合わせください。
- 外観に使用上有害な変形が無いことを確認してください。

### 施工工事店様、販売店様へのごお願い

— お願い —

この取扱説明書は施工完了後、下記の欄へ必要事項を記入してお施主様へお渡しください。

施 工 完 了 日	年 月 日
施 工 工 事 店	TEL ( ) -
販 売 店	TEL ( ) -
商 品 名	ネクスペース・ピラー&ルーフ

株式会社LIXIL この商品についてのご質問やご相談は右記の窓口にお問い合わせください。 お客様相談センター  0120-126-001